

図書館だより 12月号

～新刊情報～

『のぼうの城』 和田竜

天下統一を目指す秀吉の軍勢が唯一、落とせない「浮城」と呼ばれる忍城。城主・成田長親は、領民から「のぼう様」と呼ばれ、泰然としている男。智も仁も勇もないが、しかし、誰も及ばぬ「人気」があった。新しい英傑がここにある

映画公開中



『日本人はなぜ中国人、韓国人とこれほどまで違うのか』 黄文雄

中国人の6割が中国人をやめたいと思っている。
古代から中国人は日本を理想と思っていた。
韓国人は日本人よりも中国人が嫌い。
韓流の歴史ドラマは見栄っ張りのウソだらけ。
日本人に教えたい中国人、韓国人の不都合な真実。
グローバル化の時代だから見えてくる、中国、韓国と日本人の違い。

『あの日見た花の名前を僕たちはまだ知らない 上・下』 岡田麿里



昔は仲良しだったが、高校生になった今はばらばらの幼なじみ達。
ただ一人、あの頃から変わらない“めんま”のお願いによって
彼らは再び集り始める……。

いつだって、いつまでだって、なかよしなんだ——。



今年も後わずかとなりました。

新年の目標を決めるまえに、読書はいかがでしょう？

新着本もたくさん届いています。色々なジャンルの方の手法を取り入れて、あなたのオリジナルを模索して下さい。